

今泉 響平さん（3期生）

**卒業後の進路：チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院
現在：ピアニスト**



今泉響平さんは、高校卒業後、ロシアに単身で留学され、モスクワ音楽院在学中よりロシアで活発に演奏活動を開始して、クラシックの世界でご活躍されています。現在は、福岡を拠点として、コンサート、レッスン等ピアノに関わるお仕事をされています。

2022年に行われたコンサートで圧巻の演奏を拝聴する機会を得て、本年最初の卒業生紹介となりました。

本校での学びや生活で役立っていることなどがありましたら教えてくださいとお伝えしたところ、「総合学科ということで、当時興味を持った授業を受けられたので、時間が経っても覚えていることもあり、時々思い出すことはあります。」とご返答いただきました選択科目から、音楽系の授業は選択し、特に大学に進学するにあたって必要な科目はなかったため、興味のある学科を受講していたそうです。

本校について時々思い出していたことは何だろうか？という質問に、「好きな講座を受けられるというシステム」を思い出していたと答えていただきました。総合学科は、選択科目があるというシステムが特徴と言いますが、福岡講倫館高校では、生徒達にどの選択科目を受講したいかを尋ね、次年度の実施講座数や実施講座の枠組みが作成されています。コース制を取っている総合学科の中には、コース別で選択科目受講が決まるシステムもありますが、本校は1年次、2年次と受講講座を考える機会があります。きっと、今泉さんは自律して充実した高校生活を送られたのでしょう。素晴らしいシステムとおっしゃっていただきました。

高校を卒業して、すぐに海外へ進学されていますが、その道を選んでよかったと思うことや苦勞されたことはどんなことでしょうか？と、質問したところ、「海外を選んだので良かったのではなく、どこの土地へ行きたいか関係なく自分が学びたいこと（より高度なピアノ教育を受けたい）が受けられる学校を選んでよかったと思います。」と、しっかりと何を学びたいかをそれまでに考えて過ごされていたことがわかりました。また、日本の衛生面など生活水準が高いことを異国での生活で感じられたようで、日本と同じように生活はできなかつたことが大変だったそうです。日本を離れると、日本の良さが見えてくると一般にも言われますが、日本にいと当たり前になっていることはいろいろとありそうですね。

生徒へのメッセージをお願いしましたところ、「時代の流れもあると思いますので、その時代に合わせた生き方でも良いのではないのでしょうか。ご縁はいつ訪れるか分からないので、自分で積み取る時、与えてもらう時、どちらもチャンスのタイミングは必ず全力を出して頑張ってください。」とのこと。さらに、生徒達がこれから自分の夢を叶えるために、どんなことを心掛けて行くとよいと思いますか？という質問には、「あきらめないこと、あきらめること、どちらも無理なくバランスが大事だと思います。」とお答えいただきました。ピアノ奏者として数々のコンクールで輝かしい成績を収めていらっしゃる今泉さんにとって、今、何を目標とされているかをお尋ねしました。現在は福岡を拠点として、東京などでも活動をされていますが、今後は、機会があれば世界にも活動の場を広げていきたいとのことでした。

これからの活躍を楽しみにしています。